

授業科目(ナンバリング)	地域福祉論 B (DA204) (実践的教育科目)			担当教員	韓 榮芝 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
本講義は、前期の地域福祉論 A に関する理念と歴史、地域福祉推進の担い手の役割の学びを踏まえ、現代の福祉問題はコミュニティの「場」で発生している、これらの福祉問題を地域コミュニティにおいて総合的に解決する方法について学ぶ。これからの超高齢少子人口減少社会を支える地域福祉の政策と実践、地域再生計画及び福祉まちづくり等の事例（佐世保市や西海市などの実践活動を通じて）をめぐって考え、地域福祉の現場で出会う課題に、主体的に取り組んでいくための知識・技術を身に付けることができる。							①②③⑧⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	事前調べやグループディスカッションを通じて、地域福祉の実践、技術などを体系的に学ぶことができる。				定期試験 小テスト	20% 10%	
情報収集、分析力	(1) 地域福祉の民間組織・住民の役割を理解できる。 (2) 地域資源の活用・調整・開発及びニーズ把握方法と実際について学ぶことができる。				レポート 定期試験	10% 30%	
コミュニケーション力	地域包括ケアシステムをリードする地域福祉専門職の実践と課題を表現することができる。				事前調べシート	20%	
協働・課題解決力	社協や地域包括支援センターの実践活動（DVD など映像）を通して、地域包括的支援に関する多職種連携・協働の実際を説明することができる。				プレゼン	5%	
多様性理解力	現代の福祉問題を踏まえ、コミュニティの「場」で発生した課題を把握し、総合的に解決する方法について考えることができる。				出席カードコメント欄の内容	5%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
定期試験の成績を 50% とし筆記試験を行う（択一式、記述問題、なお 50 点のうち 25 点以上を取得すること、など）。小テストは、第 6 回目・9 回目に 15 分程度の小テストを行う（10%）。課題レポートは、第 7 回目・10 回目にそれまでの授業内容に関する課題を問う（10%）。毎回の事前学修シートに記入した内容・質疑応答も授業への参加意欲と理解度の評価対象とする（20%）。また、ポートフォリオの課題、レポート、小テスト、事前学修シートなどのフィードバックを授業で行う。ポートフォリオで、課題などのフィードバックを行うので確認すること。なお、不適切な授業態度（教科書を持参しない、遅刻、私語、携帯電話などの使用、居眠りなど）は、発覚した場合に減点の対象となる。							
授業の概要							
地域福祉推進組織とサービス供給の多元化を知り、地域福祉に関わる政策と住民参加による地域福祉計画づくり、地域福祉の主体形成とコミュニティーソーシャルワーク実践などについて現場の最新事例を踏まえながら学ぶ。 この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、180 分とする。							
教科書・参考書							
教科書：社会福祉士養成講座編集委員会編 新・社会福祉士養成講座 9「地域福祉の理論と方法―地域福祉論」 参考書：必要に応じ指示する 指定図書：社会福祉士養成講座編集委員会編 新・社会福祉士養成講座 9「地域福祉の理論と方法―地域福祉論」							
授業外における学修及び学生に期待すること							

指定教科書の次回授業予告箇所は必ず事前に一読して授業に臨むこと。
 予習をしていれば多少難解でも授業は十分理解できるようになる。
 また、講義を受けた後でその箇所を再読すれば、授業と復習とによって理解は確実なものとなる。

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	ソーシャルサポートネットワーク	フォーマル・インフォーマルについて学ぶ	地域課題とは何か、自分なりに考えてみる。7章1・2節を読んでまとめておく。
2	コミュニティソーシャルワーク	コミュニティソーシャルワーカーの役割について学ぶ 事前に調べた内容を各グループで確かめ合う学修を行う	7章1・2節を復習し、8章1節を読んでまとめておく。
3	社会資源の概要と活用方法	社会資源の内容と分類、その活用方法を学ぶ	8章1節を復習し、8章2・3節を予習する。
4	福祉サービスの開発	時代の要請と福祉ニーズに対応した新たな福祉サービス開発の必要性と方法を事例から学ぶ	8章1・2節を復習し、8章3・4節を予習する。
5	福祉でまちづくりとソーシャルアクション	まちづくりと市民運動、ソーシャルアクションを学ぶ 事前に調べた内容を各グループで確かめ合う学修を行う	8章3・4節を復習し、9章1節を予習する(小テストの準備)
6	地域におけるアウトリーチ	福祉ニーズとは何か、アウトリーチによるニーズの把握の必要性と方法について事例から学ぶ 小テストを行う	9章1節を復習し、9章2節を予習する。
7	質的なニーズ把握の方法	質的なニーズ把握の重要性とその方法を学ぶ	9章2節を復習する。 課題レポートの作成・提出。
8	量的なニーズ把握の方法	量的なニーズ把握の重要性とその方法を学ぶ 事前に調べた内容を各グループで確かめ合う学修を行う	10章1・2節を予習する。 (小テストの準備)
9	地域トータルケアシステムの構築	保健・医療・福祉の連携の課題と展開方法を学ぶ 小テストを行う	10章1・2節を復習し、10章3節を予習する。
10	地域トータルケアシステムの構築	佐世保市における地域包括ケアシステムの構築と発展・継続について事例から学ぶ (ゲストスピーカー・実務家)	10章3節を復習し、10章の4節を予習する。課題レポートの作成・提出
11	ソーシャルケア従事者の研修と組織化	専門家集団・職場内外での研修などの意義と効果について学ぶ 事前に調べた内容を各グループで確かめ合う学修を行う	10章の4節を復習し、11章の1節を予習する。
12	サービス評価を必要とする背景	措置から契約への転換によるサービス提供主体の多元化と行政の新たな責任などを学ぶ	11章の1節を復習し、11章の2-3節を予習する。
13	福祉サービス評価の方法と実際、そのプログラム評価	福祉サービスの評価の意義と方法、今後の課題と展望について学ぶ	11章の2・3節を復習し、12章を予習する。
14	災害支援の考え方と地域福祉	災害支援の考え方と方法を学ぶ。 西海市社会福祉協議会における災害支援の取り組み方と実際 (ゲストスピーカー・実務家)	12章の1・2節を復習し、11章3・4節を予習する。
15	諸外国(英米)の地域福祉	日本の地域福祉に影響を与えた英米のコミュニティソーシャルワークの歴史と現状について学ぶ 総まとめ及び復習を行い、疑問点を見出していく	振り返り総まとめと復習 定期試験に向けて学修
16	定期試験		